

# 温室効果ガス排出削減の取り組み

CO<sub>2</sub>等温室効果ガスの増加がもたらす地球温暖化は、環境問題の中でも最も深刻といわれ、この対策として温室効果ガスの排出量削減が重要な課題となっています。

沖電気では、電力および化石燃料の使用により排出するCO<sub>2</sub>量と、半導体製造工程で使用する温室効果ガス（PFC系ガス）の排出量について、削減目標を立て活動しています。

- 【目標】 ●CO<sub>2</sub>排出量（原単位<sup>注1</sup>）を2010年度末までに1990年度比30%削減する。  
●温室効果ガス（PFC系ガス）排出量を2010年度末までに1995年度比10%削減する。

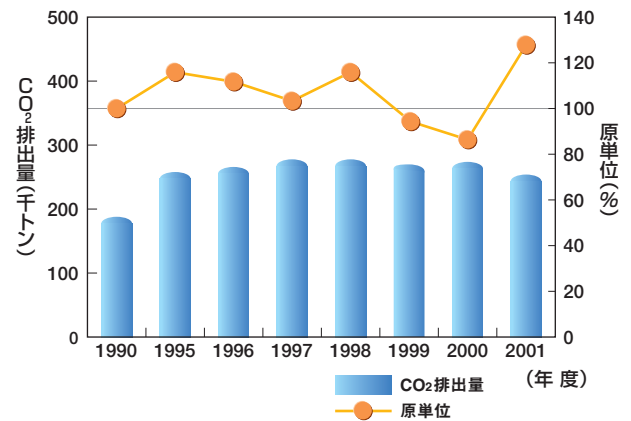
注1 原単位：CO<sub>2</sub>排出量／生産量

## 2001年度の温室効果ガス削減実績

- CO<sub>2</sub>排出量（絶対量）は2000年度比、7%（CO<sub>2</sub>換算で18,500トン）削減しました。CO<sub>2</sub>排出量（原単位）は、半導体不況による生産量減の影響で、1990年度比、27.8%増加しました。
- 温室効果ガス（PFC系ガス）排出量は、地球温暖化係数<sup>注2</sup>換算で、2000年度比27%削減しました。目標達成に向け、更に活動を続けます。

注2 地球温暖化係数：地球温暖化に与える影響を二酸化炭素の量に換算した数値指標

CO<sub>2</sub>排出量推移（沖グループ主要生産拠点を対象）



コージェネレーションシステム据付



## CO<sub>2</sub>排出削減の取り組み

電力使用量の多い半導体工場を中心に、省エネ対策を実施しました。実施内容は次の通りです。

- コージェネレーションシステムの導入
- 高効率装置への更新（空調機、受変電設備、他）
- フリークーリング（外気冷房）導入
- 照明、ファン、ポンプ類のインバータ化
- その他（自動消灯、建物断熱化、自販機夜間通電停止、他）

## 温室効果ガス（PFC系ガス）排出削減の取り組み

半導体製造工程では、地球温暖化に影響をもつパーフルオロコンパウンド（PFC）を使用し、一部を大気中に排出しています。このため、世界半導体会議（WSC）では1995年比で2010年に、排出量を地球温暖化係数換算で10%削減する目標を掲げています。

沖電気半導体製造部門では、WSCの目標達成に向け、排ガス処理装置の設置や工程の改善によりWSCの目標達成に向け活動しています。

PFC系ガス排出量推移

